



荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 鎌田博一
編集責任者 常盤達雄

No.1760
2013年
7月5日

国労加入を
大胆に訴えよう

中央支部 加入歓迎会を兼ね、組織拡大合宿

中央支部は六月一五・一六日に、組織強化・拡大「合宿」と国労復帰歓迎会を真鶴の展望の宿「峰」において開催した。初日は一四時半から開始され、最初に波能委員長はあいさつで、国内情勢、反原発、JR内の問題、今回の組織拡大の状況と問題提起をおこなった。

続いて特別講演として、たんぽぽ舎の山崎副代表から、「反原発運動と福島第一原発の現在」として原発の成立と、どのようにに族議員、官公庁、大学、マスコミ、ゼネコン、御用組合などから推進されてきたのか、それに対する反原発運動の流れや福島島の現状と今後の課題について、資料をもとに報告を受けた。

さよならなら 原発集会

国労東京地本は、六月二日に芝公園で行われた「六二つながらフクシマ! さよなら原発集会」に参加した。

この集会は「さよなら原発一千万署名」市民の会の主催によるもので、七五〇〇人が結集した集会では、呼びかけ人の大江健三郎さんが「原発の運転を再開する」ということは、福島で苦しむ人



たちに対する裏切り」などの発言がされた。集会後は日比谷公園を目指してデモ行進が行なわれた。この日は、同時並行で、「原発ゼロをめざす中央集会」が明治公園で、「〇六〇二反原発国会大包围」が国会周辺で行なわれ、デモ行進のあと、多くの参加者は国会大包围に合流した。東京地本は今後も反原発をはじめとした平和運動に取り組んでいくので、積極的な参加をお願いする。



NRUハムクラブは五月一七日(一八日)、茨城県笠間市「あたご天狗の森スカイロジ」にて、第四七回移動運用を一五名の参加で行ない、自宅を出ての無線を楽しんだ。晴天に恵まれ、標高三〇〇mで鹿島灘、霞ヶ浦まで見えるロケーションで、HF、VHF、UHFの各バンドでの無線も楽しめ、食事を挟みながら楽しい移動運用となった。

ハムクラブ サークル紹介



「がん」の保障 《生きるためのがん保険Days(デイズ)》

スタンダードプラン 入院給付金日額 10,000円の場合

初めて診断確定されたとき	診断給付金	がんの場合 上皮内新生物の場合	一時金として 100万円 一時金として 10万円
入院したとき	入院給付金	1日につき	10,000円
通院したとき	通院給付金	1日につき	10,000円
手術したとき	手術治療給付金	1回につき	20万円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき	20万円
抗がん剤治療を受けたとき (上皮内新生物は対象外)	抗がん剤治療給付金	抗がん剤治療を受けた月ごとに 乳がん・前立腺がんのホルモン療法のと (すべての保険期間を通じ通算600万円まで)	1カ月 10万円 1カ月 5万円

【引受保険会社】アフラック東京第三法人営業部
〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き
コールセンター 0120-5555-95

【募集代理店】アベニール株式会社
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F
電話 03-3437-6810 ファックス 03-3437-6822

「生きる」を創る。Aflac

◆月払保険料(団体取扱) (2011年4月1日現在)
生きるためのがん保険Days(デイズ)スタンダードプラン
入院給付金日額10,000円 定額タイプ
保険料払込期間: 終身(抗がん剤治療特約は10年更新)

	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,656円	5,608円	9,360円	15,190円
女性	3,734円	5,274円	6,864円	9,048円

〈抗がん剤治療特約〉の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。
【取りまとめ先】アベニール株式会社 東京営業所
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-55-1 国労東京地方本部内
JR電話 054-2548 ファックス 03-3806-9275
電話 03-3806-9264

©詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。 AF007-2011-0186 4月25日

津浪被害地訪問

新地駅 坂元駅

六月一七日に常盤教宣部長、佐藤前地本
監査員をはじめ、元国分寺駅分会の四名
が、以前地域間異動で国分寺駅に来ていた
福島駅、仙台駅の方を訪ねた際に立ち寄っ
た、常磐線新地駅、坂元駅の現在の様子
をお知らせする。

新地駅(福島県新地町)は、海岸からは
約五〇〇mあり、駅を中心に一km四方は大
きな草原になっており、整地作業が進めら
れ、駅や線路はほとんど跡形も無かった。
一本だけ残っていた架線柱に「高電圧注
意」の文字が無ければ、線路があった事も
気がつかない。

坂元駅(宮城県山元町)は、海岸から約
三〇〇mあり、駅のホームとレールの一部
が残っていた。海岸近くでは復旧作業が行
なわれ、トラックがひっきりなしに走って
ゆく。こちらも大きな草原の中に駅があ
る状態、「ここに駅があったの?」と思っ
たら、同行してくれた仙台駅の仲間が「草
原に見えるけれど、ここは全て住宅地だ
つた」と教えてくれた。よく見ると所々に
この付近では、線路・駅は西側の残され
た住宅地の方に移設されて復旧を目指す
様で、他の仙石線や山田線などと共に、一
日も早い運転再開が求められる。
(津波直後の写真は相馬市在住で仙台駅
分会の横山さんに提供していただきまし
た)



新地駅・線路跡は砂利道・草原の中に柱一本



坂元駅・草原の中にホーム跡・乗車口の札が残る

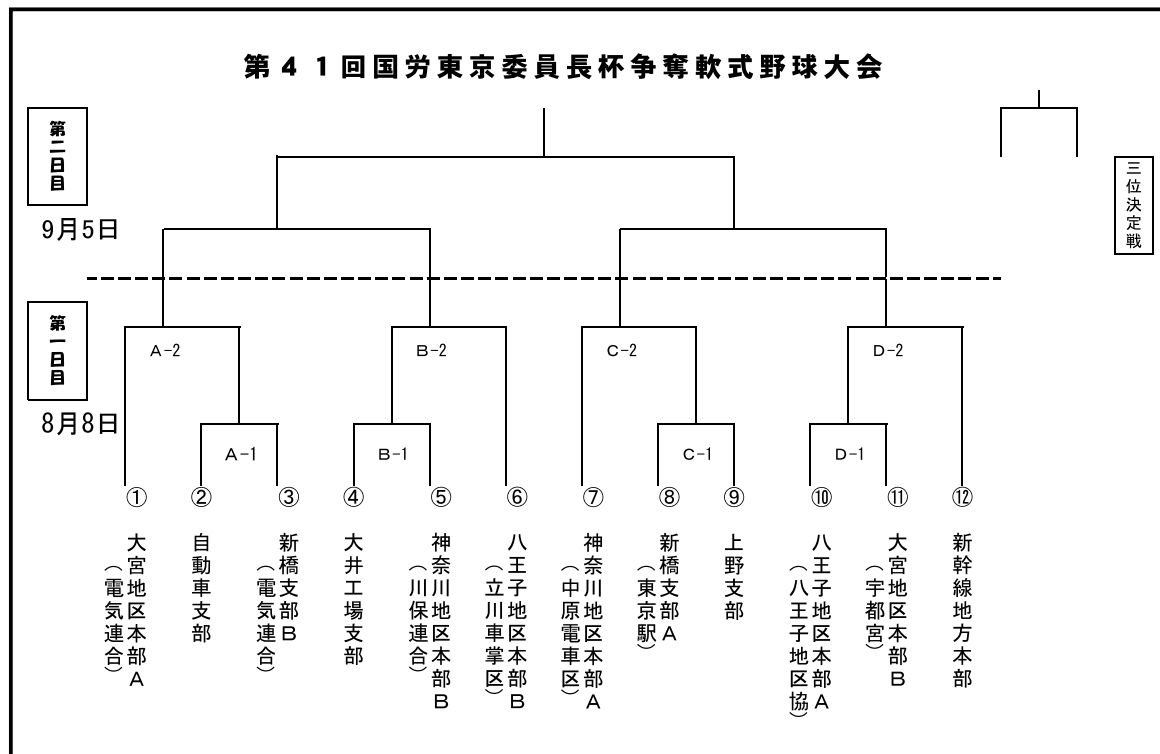
下の写真は津浪直後



第41回地本野球大会・組み合わせ



8/8・9/5 (予備日9/19)・大井スポーツセンター



国労東京法律相談

毎月第二水曜日 初回無料

14時～16時 (30分)

(8月は休み)

5日前までに

地本へ申し込んで下さい



ゴルフ大会 続々開催



八王子地区本部、新橋支部、上野支部
は相次いでゴルフコンペを開催した。
新橋支部では五月二七日、上野支部では
六月四日、八王子地区本部では六月一〇日
に開催され、なかでも大月CCで行なわれ
た八王子地区本部ゴルフ大会では、共闘の
仲間も参加し、優勝は西東京バス労組から
参加の水村勝彦さん。準優勝はOBの阿部
力さんとなり、小山委員長より、優勝カッ
プなどが手渡された。